

【議題 1】

# 平成 26 年度決算報告

平成 27 年 5 月 30 日

作成者 会計 豊田 昂希

## 1 平成 26 年度予算案および決算報告

平成26年度予算案				作成者: 根岸純一、大江弘之			
支出	単価	回数	合計	収入	単価	回数	合計
会場費	¥ 3,000	12	¥ 36,000	年会費	¥ 6,000	30	¥ 180,000
お茶代	¥ 1,000	12	¥ 12,000	勉強会会費	¥ 1,000	20	¥ 20,000
印刷費	¥ 3,000	12	¥ 36,000	政策提言会会費	¥ 1,500	40	¥ 60,000
政策提言会運営費(*)	¥ 50,000	1	¥ 50,000	専門講座会費(・)	¥ 15,000	5	¥ 75,000
専門講座運営費(**)	¥ 12,000	5	¥ 60,000	機関誌販売費	¥ 300	30	¥ 9,000
新歓活動費(***)	¥ 30,000	1	¥ 30,000				
機関誌製作費	¥ 27,000	2	¥ 54,000				
通信費等	¥ 15,000	1	¥ 15,000				
		支出	¥ 293,000			収入	¥ 344,000
(*)政策提言会運営費内訳				(***)新歓活動費内訳			
案内チラシ費製作費	¥ 5,000			パンフレット製作費	¥ 15,000		
印刷代	¥ 10,000			会場費	¥ 10,000	2000[円/回] × 5[回]	
会場費	¥ 15,000			印刷費	¥ 5,000		
お茶代	¥ 5,000			合計	¥ 30,000		
講師への謝礼	¥ 15,000						
合計	¥ 50,000						
(**)専門講座運営費内訳							
会場費	¥ 3,000			前年度繰越金	¥		58,726
印刷費	¥ 3,000			次年度繰越金	¥		101,861
お茶代	¥ 1,000						
講師謝礼	¥ 5,000						
合計	¥ 12,000						

平成26年度決算報告				作成者: 豊田昂希、大江弘之		期間: 平成26年4月1日～平成27年3月31日	
支出	合計	回数	単価	収入	合計	人数	単価
勉強会・総会運営費	¥64,718	11	¥ 5,883	年会費	¥168,000	28	¥ 6,000
レクチャー運営費	¥5,294			勉強会会費	¥18,000	18	¥ 1,000
政策提言会費運営費(*)	¥114,159			政策提言会会費	¥72,000		
新歓活動費(**)	¥15,696			機関誌販売費	¥13,500		
機関誌発行費	¥69,990			レクチャー会費	¥7,000		
防大交流会運営費	¥13,176			防大交流会会費	¥9,000		
エネルギー講座運営費	¥20,075			エネルギー講座会費	¥31,000		
WEB関連費	¥9,880			寄付	¥56,000		
活動奨励費	¥14,000			雑収入	¥9,293		
郵送料・備品代	¥7,212						
合計	¥334,200			合計	¥383,793		
政策提言会運営費(*)				新歓活動費(**)			
チラシ発行費	¥ 7,232			会場費	¥ 4,896		
印刷費	¥ 18,750			パンフレット代	¥ 10,800		
会場費	¥ 55,032			合計	¥ 15,696		
お茶代	¥ 3,145						
講師への謝礼	¥ 30,000						
合計	¥ 114,159						
				収入-支出(フロー)			
				前年度繰越金			
				保有資金総量(ストック)			

## 2 決算報告概要ご報告

### (1) 予算規模の拡大について

レクチャーおよび防衛大学校交流会の実施並びに活動奨励金は昨年ご承認いただきました予算案においては計上されておりませんが、活動の重要性に鑑み、執行委員会の決議において実施を決定し、実施いたしました。その分昨年ご承認いただきました予算案と比べて収支規模が拡大しました。具体的にはレクチャー運営費として 5,294 円、防衛大学校交流会運営費ととして 13,176 円の支出がなされました。

ただし、全体の収支バランスの悪化を防ぐため、運営にあたっては会費制を導入いたしました。レクチャーについては会費収入 7,000 円となりました。また、防衛大学校交流会については会費収入 9,000 円となりました。

また、活動奨励金を 14,000 円支出いたしました。活動奨励金とは執行委員の事務負担を軽減したり、高校生や大学生など収入が十分でない会員等に良き学びの場を提供したりするための費用です。当会の活動に積極的に参加して、一層当会を支えて頂くことを狙いとしております。昨年はもんじゅ見学に行った者に対して 1 名あたり 7,000 円を補助し、14,000 円を支出いたしました。

平成 27 年度につきましては、新規事業も含め、収入の担保のある形で支出を計上しております。詳しくは平成 27 年度予算案・説明をご覧ください。

### (2) 政策提言会運営費の拡大について

当初予算で 50,000 円の支出を見込んでいたのに対し、決算では 114,159 円の支出となっております。これは、政策提言会の規模拡大により、より大きく設備が整った会場を確保する必要が生じ、民間の会議室を使用することとなったため、会場費支出が大きく拡大したためです。詳細は、上記政策提言会運営費をご覧ください。

### (3) その他

機関誌頁数の増加に伴い、機関誌発行費用が想定を 1 回 8,000 円程度上回っています。

年会費納入者については目標 30 名のところ 28 名、非会員の勉強会参加者は目標 20 名のところ 18 名と、わずかに目標には至りませんでした。引き続き会員拡充に向けて運営いたします。

ご寄附および機関誌販売費、勉強会会費によって経常収支 49,593 円の黒字となり、当会の保有する資金の総量は 151,454 円となりました。

みなさまのご支援、ご協力に感謝いたします。引き続き、順調な運営を心掛けてまいりますので、よろしく願いいたします。

【議題3】

平成27年度予算案

平成27年5月30日

作成者 会計 豊田昂希

1 平成26年度予算案および平成27年度予算案

平成26年度予算案				作成者: 根岸純一、大江弘之			
支出	単価	回数	合計	収入	単価	回数	合計
会場費	¥ 3,000	12	¥ 36,000	年会費	¥ 6,000	30	¥ 180,000
お茶代	¥ 1,000	12	¥ 12,000	勉強会会費	¥ 1,000	20	¥ 20,000
印刷費	¥ 3,000	12	¥ 36,000	政策提言会会費	¥ 1,500	40	¥ 60,000
政策提言会運営費(*)	¥ 50,000	1	¥ 50,000	専門講座会費(・)	¥ 15,000	5	¥ 75,000
専門講座運営費(**)	¥ 12,000	5	¥ 60,000	機関誌販売費	¥ 300	30	¥ 9,000
新歓活動費(***)	¥ 30,000	1	¥ 30,000				
機関誌製作費	¥ 27,000	2	¥ 54,000	(・)専門講座は年5回、1回あたり15名参加を想定。			
通信費等	¥ 15,000	1	¥ 15,000				
		支出	¥ 293,000			収入	¥ 344,000
(*)政策提言会運営費内訳				(***)新歓活動費内訳			
案内チラシ製作費	¥ 5,000			パンフレット製作費	¥ 15,000		
印刷代	¥ 10,000			会場費	¥ 10,000	2000[円/回] × 5[回]	
会場費	¥ 15,000			印刷費	¥ 5,000		
お茶代	¥ 5,000			合計	¥ 30,000		
講師への謝礼	¥ 15,000						
合計	¥ 50,000						
(**)専門講座運営費内訳							
会場費	¥ 3,000			前年度繰越金	¥		58,726
印刷費	¥ 3,000			次年度繰越金	¥		101,861
お茶代	¥ 1,000						
講師謝礼	¥ 5,000						
合計	¥ 12,000						

平成27年度予算案				作成者: 豊田昂希、大江弘之				期間: 平成27年4月1日～平成28年3月31日				
支出	単価	回数	合計	収入	単価	人数	合計					
勉強会運営費	¥ 7,000	11	¥ 77,000	年会費	¥ 6,000	35	¥ 210,000					
レクチャー運営費	¥ 3,000	12	¥ 36,000	勉強会会費	¥ 1,000	20	¥ 20,000					
政策提言会運営費(*)	¥ 91,500	1	¥ 91,500	レクチャー会費(・)	¥ 500	72	¥ 36,000					
専門講座運営費(**)	¥ 7,000	3	¥ 21,000	政策提言会会費	¥ 1,500	50	¥ 75,000					
新歓活動費(***)	¥ 20,000	1	¥ 20,000	専門講座会費(・・)	¥ 750	45	¥ 33,750					
機関誌製作費	¥ 35,000	2	¥ 70,000	機関誌販売費	¥ 500	30	¥ 15,000					
通信費等	¥ 15,000	1	¥ 15,000	(・)レクチャーは毎月1回各6名参加を想定								
活動奨励金	¥ 25,000	1	¥ 25,000	(・・)専門講座は年3回、1回あたり15名参加を想定。								
		支出	¥ 355,500							収入	¥ 374,750	
(*)政策提言会運営費内訳				(***)新歓活動費内訳								
案内チラシ製作費	¥ 7,500			パンフレット製作費	¥ 11,000							
印刷代	¥ 20,000			会場費	¥ 4,000	2000[円] × 2[回]						
会場費	¥ 30,000			印刷費	¥ 5,000							
お茶代	¥ 4,000			合計	¥ 20,000							
講師への謝礼	¥ 30,000											
合計	¥ 91,500											
専門講座運営費(**)												
会場費	¥ 3,000			(収入-支出)	¥ 19,250							
印刷費	¥ 3,000			2014年度保有資金総量	¥ 151,454							
お茶代	¥ 1,000			2015年度末保有資金総量(予定)	¥ 170,704							
合計	¥ 7,000			※平成26年度の(収入-支出)は49593円です								

## (1) 総論

平成 26 年度の実績を踏まえ、予算規模を 60,000 円程度拡大し、20,000 円程度の経常収支黒字運営を目指してまいります。

## (2) 費目計上の変更について

平成 26 年度までは、「会場費」や「運営費」と計上していましたが、何のための運営費かという記載に統一をしました。なお、ミーティングは、勉強会やレクチャー等所定の活動の前後に開催しておりますので、執行委員会の運営費として個別には計上しておりません。

## (3) 費目の増加

レクチャー運営費（レクチャー会費）および活動奨励金の項目を増やしました。

レクチャーについては参加者によって経費を負担するという会費制を敷いています。そのため、運営費と会費が釣り合うように価格を設定しております。なお、昨年度の会費は 1 人辺り平均 500 円でした。

活動奨励金として 25,000 円を計上いたしました。詳細につきましては、下記「2 今後の支出について」をご覧ください。

## (4) 政策提言会の支出について

平成 27 年度は会場費を抑えられるよう会場確保の手段の強化に務めてまいる所存です。

## (5) 会員拡充へ向けて

平成 27 年度は、活動領域を拡大し、合わせて会員も増員してまいりたいと思います。専門講座の開催等を通して入会促進活動を強化し、具体的には 35 名の方々から年会費を納入してもらうように目標を定めております。現時点での会員数に照らすと、5～10 名（割合にして 20～30%程度）の新規加入を目指すこととなります。

## (6) 機関誌販売について

機関誌の製作費の原資とすべく、平成 27 年度も引き続き販売目標を掲げていきたいと思っております。1 部の部数の値段を 500 円と設定し、1 号あたり 15 冊併せて年 30 部を販売していきたいと考えております。

このように有償頒布を目標と置くことで、執筆陣が責任ある言論を展開することも期待されます。

## 2 今後の支出について

### (1) 新規支出について

平成 27 年度も原子力分野に携わる方々と共催する専門講座の開催など当会の活動のノウハウを生かして、活動領域を広げていくことに対して貪欲に取り組んでまいります。

場合によっては新たな支出が必要な場合がございます。支出については事前に会員の皆さまにお知らせするとともに、収入が担保され、収支が赤字にならないような制度設計に努めてまいります。

## (2) 活動奨励金について

当会の活動領域が広がるにつれ、執行委員の負担は大きくなっております。現在も執行委員はボランティアで活動しております。給与や報酬を支払うということになりますと税制上の問題も出てまいりますが、執行委員や事務担当の会員の活動を奨励するために、様々な施策を今後検討してまいりたいと思います。

昨年同様高校生や大学生などの会員に対する補助費としても活動奨励金を運用していきたいと考えております。平成 27 年度については 25,000 円を計上しております。